

令和
5年 **7**月

二千畳 講師の法話

| 〔日〕 | 〔講師〕 | 〔演題〕 |
|---------|------------|-----------------------|
| 2日 日 | 午前 有国 俊好 | 難思の弘誓は難度の海を度する大船 |
| | 午後 岡安 将太 | 苦悩の根元 |
| 16日 日 | 午前 安藤 智佳子 | 真実の自己 |
| | 午後 三浦 朋子 | 「なぜ生きる」と『歎異抄』 |
| 17日 月 休 | 午前 } 椎名 英樹 | なぜ仏教を聞かなければ ならないのか |
| | 午後 } | |
| 29日 土 | 午前 兒玉 英志 | 弥陀の本願には老少善悪の人をえらばず |
| | 午後 三浦 浩人 | 往生極楽の道(歎異抄2章) |
| 30日 日 | 午前 加藤 恒人 | 阿弥陀仏の本願 |
| | 午後 服部 壮 | 「親鸞閉眼せば～」のお言葉 |

スケジュール

〔午前〕

9時30分 勤行

10時 5分 説法
(途中15分休憩)

11時40分 恩徳讃

〔午後〕

1時30分 勤行

2時 5分 説法
(途中15分休憩)

3時40分 恩徳讃